



瞳の先には...

地域コミュニティの再生へ

元気なまちをつくっていくためには、地域コミュニティを支える住民、地域団体、企業、行政等が力を合わせ、自発的にさまざまな地域課題の解決に取り組んでいくことが重要です。

市では、住民同士が互いに支え合う「地域の絆」を再生し、地域コミュニティの活性化を図っていくため、地域と連携して協働と交流によるまちづくりに取り組んでいます。

小学校区を単位とした地域での話し合いの場づくりやさまざまな地域課題の解決に向けた新たな活動など、地域コミュニティの活性化を図るための地域の取組に対して事業費を助成するほか、コミュニティ活動へ興味を持っていただき、さまざまな活動へ参加していただこうと、各地域の特色あるコミュニティ活動の情報をホームページ、広報誌などを活用して広く発信しています。

こうした活動を通して、それぞれの地域に暮らす人たちの思いを活かした「地域発の地域づくり」を実現できるよう、行政と地域が連携して、地域コミュニティの活性化に取り組んでいきます。



始動初めの

一歩

次世代を担う子どもたちのために

愛着と元気あふれるふるさと作りを――

蓮沼むらづくり協議会

蓮沼地域では、住民が主体となって、自らの地域の課題に自ら取り組む組織として、区長会、消防団、PTA、小中学校、地域活動団体等により「蓮沼むらづくり協議会」が6月14日に設立されました。

平成18年3月27日に4町村が合併し、誕生した山武市。行政施策が統一化、合理化されていく一方、蓮沼地域では行政が遠くなったと不安を感じる声もあり、郷土への誇りと価値を見いだせる地域資源を活用した取組の必要性が求められていました。

地域まちづくり協議会とは

おおむね小学校区程度の範囲を基準として、区域内で活動する区・自治会・町内会を基盤に、地域で活動する団体・事業者等が、それぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携、協力し、地域の身近な課題や地域創生策などを話し合い、解決に向けての活動を通じて主体的にまちづくりへ協働参加できる仕組みです。地域が一体となることで、災害の発生など、いざという時には、大きな力を生むことも期待されています。地域まちづくり協議会は、地域の特性や状況に応じてコミュニティ活動をさらに活発に、より効果的に繰り広げるための地域分権型の自治組織を目指そうとするものです。

地方創生のエンジンとして

地域の生きがいと元気をつなぐ――

地域コミュニティを活性化 する意義

持続可能な地域コミュニティの創生には協働と交流によるまちづくりを推進する必要があります。地域のことは、地域の皆さんで自ら考え、解決に向けて行動していくという住民自治を基本に、これを支える地域コミュニティの充実・活性化が人口減少社会には必要になってきています。

まちづくり協議会には地方創生のエンジンとして、地域の生きがいと元気をつなぐ役割も求められています。

地域コミュニティを大切にすることで、人と人が結びつき、地域に一体感と信頼関係が生まれ、子どもや高齢者、障がいを持つ方も優しい絆で結ばれた、安心・安全な暮らしやすい地域づくりにつながっていきます。

☎ 市民自治支援課

☎ 0475(80)0151

